

平成 16 年度事業報告書

(平成 16 年 10 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 宮崎野生動物研究会

1. 事業の成果

過去 28 年間継続してきたウミガメの生態調査やその他の動物の生息調査を継続して実施し、その報告書を関係先に提出した。またこれらの事業により得られた調査データに基づき、県内の野生動物保護や自然環境保全活動に対して適切な助言等を行なった。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

野生動物生態解明に関する調査・研究事業

ア ウミガメ生態調査

- ・ 実施時期 平成 16 年 5 月～平成 17 年 3 月
- ・ 調査対象 ウミガメ
- ・ 調査内容 宮崎県の天然記念物に指定されているアカウミガメの上陸海岸(こどものくに海岸～堀の内海岸)に産卵するアカウミガメの上陸数及び生態の調査を行なったほか、県内各地の上陸産卵数についての取りまとめを行なった。
- ・ 結果公表 年度末に報告書を関係先に提出した。

イ その他の動物の生態調査・分布調査

- ・ 実施時期 平成 16 年 12 月～平成 17 年 3 月
- ・ 調査対象 狩猟鳥獣
- ・ 調査内容 平成 15 年度中に実施された狩猟鳥獣捕獲報告の内容を分析し得られたデータを基に県内に生息する野生狩猟鳥獣の生息分布数を推定し報告書にまとめた。また過去 3 年間の県内有害鳥獣駆除事業実施報告を分析してその被害実態及び被害金額等についての報告をまとめた。
- ・ 結果公表 年度末に報告書を関係先に提出した。

野生生物保護活動

ア ウミガメの保護

- ・ 海浜侵食のために孵化の可能性が低い場所に産卵された卵塊を安全な箇所に移植した。
- ・ 海浜の人口構造物などで海へ帰れなくなった親ガメの救出活動を行なった。

イ 海浜の環境整備

- ・ ウミガメの産卵や子ガメの孵化に支障があると考えられるゴミ等の除去清掃を行なった。

ウ 傷病動物の保護

- ・ 怪我をした野生動物を保護するシステムの素案づくりを開始した。

野生動物保護および自然環境保護に関する広報・啓発事業

- ・ 宮崎県の事業「野生のいきものふれあい講座」への講師派遣を行なった。
- ・ 学校、公民館、子ども会、各団体などへ野生動物保護の講演依頼を引き受けた。
- ・ ホームページを開設した。
- ・ 会報通信「わいるどらいふ」を発刊した。

自然環境保護に関する提言

- ・ 海岸改変事業工事等の際し、適宜提言助言などを行なった。

子どもへの環境教育の指導

- ・ 学校、幼稚園などでの講演依頼の引き受け(講師派遣)を行なった。

(2) その他の事業

野生動物グッズの販売事業

- ・ 実施しなかった